



平成 25 年 2 月

第 64 号

SEIFUKU

清福

題字 総本山金剛峯寺座主松長有慶大僧正猊下

高野町議会だより



嶽辨財天社

平成24年12月定例会

おもな内容

- ◇ 12月定例会の概要 2頁
- ◇ 12月定例会議案審議とその結果 2頁
- ◇ 委員会報告 4頁
- ◇ 一般質問 5頁

発行 高野町議会
編集 広報特別委員会

〒 648-0281

和歌山県伊都郡高野町大字高野山 636

TEL : 0736-56-3000

FAX : 0736-56-5300

e-mail : gikai-jimu@town.koya.wakayama.jp

平成24年12月定例会の概要

平成24年第4回定例会は12月11日に開会しました。

この定例会では、専決処分の承認2件、一般会計、特別会計、事業会計の補正予算5件、町道の認定、廃止2件、同意1件、全10議案が提案され審議され12月20日に閉会しました。一般質問については、5名の議員が後述の内容で一般質問を行いました。

議案とその結果（12月定例会）

議 題 名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認を求めることについて 平成24年度高野町一般会計補正予算（第3号）		原案承認
専決処分の承認を求めることについて 平成24年度高野町一般会計補正予算（第4号）		原案承認
平成24年度高野町一般会計補正予算（第5号）について		原案可決
平成24年度高野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決
平成24年度高野町介護保険特別会計補正予算（第3号）について		原案可決
平成24年度高野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について		原案可決
平成24年度高野町水道事業会計補正予算（第1号）について		原案可決
町道の路線廃止について （町道大中1号線、町道作水1号線、町道作水2号線、町道作水4号線）		原案可決
町道の路線認定について（町道大中1号線、町道作水1号線、町道作水2号線）		原案可決
高野町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		原案可決
オスプレイの配備撤回、および国内飛行訓練中止を求める陳情について	総務文教常任委員会	継続調査
住宅リフォーム助成制度創設を求める陳情について	厚生建設常任委員会	継続調査

○表紙の説明

高野山には、七弁天が祀られています。伝説には弘法大師が高野山の水源に七弁天を作られたと云うが、実際に歴史上いつ誰によって定められたか、なぜ七か所選んだかについては、明らかでないそうです。

写真の社は、嶽弁財天で大門の手前に大きな鳥居があり、標高894.5mの弁天岳に祀られています。

現在のお社は昭和34年に信者の請願により再建されたもので、毎年10月18日に大祭が行われ多数の参拝があります。

○清福表紙の写真に今回嶽弁天を使用させていただきました。普段何気なく見ている社とは思いますが、繋がりのある七弁天の機会があることに順次紹介していくことにより、改めて興味を持っていただければと思います。

平成24年度補正予算（12月）が承認されました

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計	第3号(専決処分)	2000万円	36億2380万円
	第4号(専決処分)	600万円	36億2980万円
	第5号	8330万円	37億1310万円
特別会計	国民健康保険(第2号)	2320万4000円	6億8059万6000円
	介護保険(第3号)	1897万8000円	5億2698万6000円
	後期高齢者医療(第1号)	407万2000円	1億3807万2000円
水道事業会計		21万円	3億3842万3000円

平成24年12月定例会議案審議

【専決処分の承認】

平成24年度一般会計補正予算(第3号)について

内容 平成24年9月に発生した、台風17号の災害に伴う補正

◎ 農林業災害復旧工事40万円

◎ 公共土木施設災害復旧工事2千40万円

平成24年度一般会計補正予算(第4号)について

内容 衆議院解散に伴う衆議院議員選挙に関する補正

平成24年度一般会計補正予算(第5号)について

質問 財産管理費の公用車購入費は、電気自動車購入の費用と思いますが、公害対策であるとか、環境面に配慮してどのように利用するのか説明願います。

答弁 町内での配りもの、現場の視察、橋本振興局への出張など、町内、近隣を中心に使用させていただきます。クリーンエネルギー自動車等促進対策事業費補助金として一部補助金が充当されます。

質問 教育諸費の特殊検査委託料88万円について説明願います。

答弁 ボイラー煙突内部に石綿を使用した製品で保護した煙突があるというのが最近分かってきたことから、図面などにより調査したところ、直接表記はされていないが使用している可能性がありそうなので、念には念を入れ、高野山小学校の校舎と体育館、高野山中学校、高野山会館のボイラーのアスベスト検査を行う委託料です。

質問 保健衛生費の医薬材料費63万8千円の説明を願います。

答弁 ポリオワクチンは今まで単独で接種していましたが、三種混合ワクチンとの混合ワクチンが開発されました。この4種混合ワクチンを使用すれば接種が1回で済むということ、切り替えを行うための差額費用です。

質問 地域振興費の賃金78万円について説明願います。

答弁 筒香地区において地域活性化に関する取り組みをおこなっておりますが、それに関する支援員の11月～3月の5か月分の賃金になります。

委員会報告

厚生建設常任委員会所管調査

平成二十四年十一月十九日開催

◎午前中、高野山総合診療所に変わって約半年が経過しましたので、計画に基づく運営状況について、町当局から説明を受けました。また、国道480号線（鍋谷峠～高野山）の改良について、県担当者から説明を受けました。

◎午後から診療所の耐震工事の状況、2階利用状況などの視察を行いました。

調査項目

- 診療所運営計画
- 看護師数
- 医師の勤務時間
- 訪問診療
- 訪問看護
- 福祉との連携
- 患者数動向
- 2階の利用
- 耐震工事



耐震エレベーターについて説明を受ける



2階の一部を機能回復室として利用

総務文教常任委員会所管調査

平成二十四年十一月二十一日開催

◎午前中、高野町の防災計画、土砂災害危険箇所について、町当局から説明を受けました。

◎午後から、五の室地区の防災備蓄箇所、東小田原地区土砂災害危険箇所などの視察を行いました。

調査項目

- 高野町地域防災計画
- 高野町土砂災害危険箇所



五の室 NTT 事務所（防災備蓄用倉庫として借り受け）



東小田原土砂災害危険箇所状況





平野 一夫 議員

冬季の除雪対策について

質問 除雪不能の地域（町内会）に対して、地域サービスの公平性から見て、前もって融雪剤（塩カル）の配布、配達はできないのですか。

答弁（建設課長） 幹線道路の除雪や融雪、町内会で管理して頂けない部分（橋梁や坂道など）についてはあらかじめ融雪剤を配置しておりますが、町内の細部に至っては町内会の皆さんで目配りと管理をお願いしたいという意味から、1回の申請で5袋の融雪剤の無料配布を行っています。配達については、できるだけ町内の若い方に取りに来ていただくのを基本にしたいと思いますが、高齢者ばかりでどうしても取りにいけない場合などは、



一度ご相談いただきたいと思います。

答弁（町長） 高齢化した中でも、自助というのが一番基本的だと思っておりますが、地域、地区において本当に共助、公助が成り立たない地域が増えてきております。その辺のところを見きわめて、公助のほうでお助けしたいと思っております。

税金の納付方法について

質問 固定資産税、後期高齢者の年度初めに納付書一括送付され納期が過ぎて督促が発送される前に、前もって電話等で納期が済んでいる旨、親切に案内するなどの方法を検討して頂けませんか。

答弁（健康推進課課長） 一連の納付書を送らせていただき、質問のとおり納期を忘れていたり、事情で期日が過ぎる場合があります。その場合督促状を発送していますが、この方法については、県内全市町村共通の方法で行っておりますので、広域連合会のほうにもお話しする機会がございましたら相談したいと思いません。

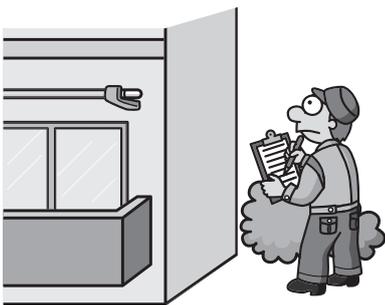
空き家調査の方法について

質問 空き家調査にあたり、その調査を町職員で出来なかったのですか。

答弁（企画財政課長） この調査の目的は、過疎化が進む高野町に移住者の受け入れを推進していくため、県の補助金を活用し、基本的には台帳作成まで行いうため、専門的な知識を有した調査会社に調査を委託する費用として充当し、町内全域を調査して頂いております。

今後は、空き屋の所有者の意向調査、部屋の間取り、図面作製などを進めていきます。

答弁（町長） 4百軒近い空き家調査を行った中で、現在何軒かの持ち主の方が売買または賃貸しても良いと返答をいただいておりますので、集計が済みましたらターナー、Uターンを促進していきたいと思っております。





中前好史 議員

当初予算の編成方針について

質問 新たな年の健全財政・町民が心身ともに健康で生活できる方針、経済を活性化させることのできる方針をお聞かせください。

答弁 (町長) 当初予算についても町民目線にたった予算編成をしなければならぬと思っております。人口が3600人を切った状況で高齢化率も40%近くになってきている現在、自助という事を基本とし取り組んでいかなければならないところですが、地域また人によっては共助公助が重要と考えております。23年度決算では9億1千79万8千円が積み上げられ今年度の部分を足しますと10億を超える数字になり健全財政になってきています。

来年度予算編成も町民が窮することのないような公助の部分を生かした予算編成を組むよう各課長に指示を出しております。

重要施策は社会保障費が上がっており個人的な負担、生産人口にたいして負担が重くなっておりますので子育て支援に関して高野町独自の施策を来年度は提案したいと思っております。それと2年後高野山開創1200年を迎えるわけですが、それにち

なんだ予算ということと道路整備また駐車場整備を含めたなかで取り組みを行っていきたく思っております。具体的内容数字的なものは3月議会のほうで発表させていただきますのでよろしくお願いいたします。

桜ヶ丘付近の山林について

質問 南側国有林の樹木の生長に伴い冬季中は日陰の坂道は凍結し危険な状態になり、また、台風時は立木が倒れないかとのことから防災面からも少し伐採の対策を考えてみますと回答を頂いていますが、現在どのように進めていただいているのでしょうか。

答弁 (町長) 近畿森林管理署に田辺森林管理署を通して要望を出したところ、計画を立てて間伐をするとの回答がきています。が間伐だけではあの道路の凍結は解決でき



ないとのことから1ヘクタール程抜開していただきたいと要望していただきました。森林管理署から他の物件ですが購入していただけないかとの提案が

ありましたので桜ヶ丘の1ヘクタール程の物件も同時に購入できるのであれば、購入すると提案し再三再四声を掛けています。再度購入できないか要望しますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

高野山内街灯電気料金について

質問 住民も必要としていますが観光客の安全また防犯面を考えた場合街灯は必要です。住民の高齢化、人口の減少は町内会で支払う電気料金も個人の負担が大きくなってきます。電気料金補助の考えはあるのでしょうか。



答弁 (総務課長) 既存の街灯電球をLED電球に交換の場合は補助金を出しています。電気代金を軽減できると思えます。取り換え後10年もつとのことなので、利用していただきたいと思います。電気料金につきましてはいろいろ費用もかかってくるので今後町長と相談していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



松谷 順功 議員

保育所について

質問 少子・高齢化・人口減少が進む当町にとって、誠に喜ばしいことに平成25年度の募集で3歳未満児の入所申込みが多いと聞いています。一方入所希望者が多い場合「ふるいにかける」との話があったそうで、申込みをした親は非常に不安視しています。実態はどうですか。

答弁 (健康推進課長) 「ふるいにかける」という発言はしたことはありません。ただ入所時の申請時書類で、保育に欠けるか、欠けないかを必要あれば調査させていただくということですが、書類審査で可否を決定しようと考えています。できる限り待機児童を出さないように受け入れる方向で決めています。平成25年度は1歳児が3名、2歳児が21名で計24名の応募がありました。

質問 保育スペースの確保はできますか。

答弁 (健康推進課長) 限られた施設内でこの24名をどう保育していくか考えています。現在1、2歳児はほくく室で保育を行っています。面積が少ないため保育室と振り替えて保育を行う考えで、安全性を確保したうえで対処したいと考えています。

質問 町のホームページで高野山こども園(通称)と紹介されていますがなぜですか。
答弁 (健康推進課長) 実態は高野山こども園で学校法人の幼稚園と公立の保育所が同居しています。保育所業務については学校法人に委託して、一元化で運営をしています。公立保育所には変わりはありません。運営方法を決めるのは高野町で、町の意向に従った形で学校法人が保育所業務を運営するという取り決めになっています。

質問 現在の保育士数で対応できますか。

答弁 (健康推進課長) 町から学園へ派遣の保育士3名、学園の職員(教諭)は全て保育士の免許を持っています。5名の幼稚園の教諭の中で1名は幼稚園の主任、保育所の所長兼任で実質は7名で担任しており、人数的には足りていますが、学園で25年度までに1名幼稚園での(保育士免許を持っている方)採用が決定していると聞いています。

質問 保育所に入所希望者は全員入れますか。

答弁 (健康推進課長) 提出された書類上は整っていますので、24名全員の入所はできる方向で考えています。

質問 業務委託先に町職員保育士を派遣していますが、いつまで対応するのですか。

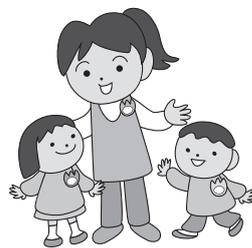
答弁 (健康推進課長) 地方公務員の公益法人への派遣については、法律で3年と定められ、任命権者(町長)が必要であると認めたとときは、本人同意でさらに2年延長できると定めています。すでに平成21年4月1日の派遣開始から3年が満了し、2年の延長期間に入っており平成26年3月31日には派遣期間が終了します。また業務委託契約が同日満了します。

質問 今後の業務委託のあり方についてはどう考えていますか。

答弁 (健康推進課長) いま近隣の市や町では公設民営化されているのが実情で、指定管理者制度を利用しているのが一般的になっています。現状の委託契約が切れた先のことは、学園側と交渉し意向も聞いたうえでないと何とも言えませんが、できるだけ早く結論を出したいと考えています。

質問 今後の町としての考え方はどうですか。

答弁 (町長) 平成26年3月31日に業務委託契約が切れるので、担当課長・副町長が中心になって学園サイドと話を詰めています。町からは公設民営を提案していますが、25年夏頃までには結論を出さねばならないと考えています。



答弁 (健康推進課長) 公設保育所という位置づけは堅持したく思っています。

質問 給食について業務委託されていますが、3歳児未満の外部搬入はできますか。

答弁 (健康推進課長) 構造改革特区で認められています。

質問 学校給食センターの調理及び配送業務委託契約書及び管理規則に、通称のこども園を使っていますが問題はないですか。

答弁 (教育次長) 契約書については正式な名ではありませんが、場所を特定しているの有効と顧問弁護士に確認しています。規則は教育委員会に諮り改正します。



所 順 子 議員

高野山総合診療所について

質問 厚生建設委員会の所管調査報告をも参考にしながら再度診療所について伺いたいと思います。病院から診療所となって8ヶ月が経ちます、報告書に「患者数の減少を特に注意し、原因を検討」とありますが、上半期の患者数は、昨年同期比、何%、人数にして何人から何人の減少となっておりますか。

答弁 (診療所事務長) 11月末現在で、昨年度は1日あたり82・8人、今年度は78・2人で、マイナス4・6人。内容的には予約診療の1診と予約外の2診があり、1診については大幅な減少はないが、2診の方で若干減っているところです。

質問 診療所に衣替えして、訪問看護、訪問介護を主に行ってゆく、とのことでありましたが、看護師、介護士、及び医師、薬剤師の人数をお聞きいたします。また、院長が不在と聞いているが何故院長が不在なのか。

答弁 (診療所事務長) 4月から訪問看護・診療を行っている。その中で、介護保険としての事業として訪問看護師2名の態勢で訪問看護の事業を展開している。訪問診療については院長と副院長が主に行っている。総合診療所からの対象の訪問看護の受給者は11月現在で18名の方にサービスを提供しており、内容的には週1回〜2回平均で訪問をさせていただいている。薬剤師は1名である。医師看護師の人数について、現時点で常勤の医師は4名で、常勤の看護

師は7名である。院長は1週間ほど前に突然体調不良を訴えられ現在入院中である。2週間ほどの入院を要するが、1月には復帰できる予定である。

質問 2週間は確かな日数ですか。院長不在ということで遂行していきませんか。なお、2名の医師が近隣病院に助けにいらしているとのことをお聞きしましたが、診療所の医師が少なくなっているように思う。高野町で言えば町長が倒れたようなものであり、病院長が不在の状況について町長はどのようにお考えか。

答弁 (診療所事務長) 主治医の診断書が2週間である。副院長と協議しながら全て行っている。若手先生2名に関しては、非常事態であるので橋本市市民病院への応援には当然行ける状況に無いので、中止している。

答弁 (町長) 事務長が申し上げた通りである。高野町の医療資源を活用した中で大切な方が急病で倒れ非常に心配をしている。副院長、事務長を中心に住民の方々に迷惑をかけないような形で運営を行っている。医師3人体制の中で負担が相当かかっている。そのような事も鑑みて来年度になれば体制も変更しなければならぬかもしれないと考えている。

質問 次に、救急対応について。以前、救急対応について不安がある、と尋ねた折に、町長は「診療所となっても、山麓の病院とは契約書こそないが、口頭でお願いしているので安心していただきたい」と述べられました。つい先日、近所で急病人がでて救急車が配備されました。私も駆けつけましたが、病人を乗せてから10分も15分も出発いたしません。消防士をせかせかせましたが、

返事は「受け入れ病院の返事がなければ発車できない」とのことでありました。一分一秒を争う病気で底助からないのではないかと、不安になりました。これでは、町長が言われたこととは話が違う、のではないのでしょうか。

答弁 (消防長) 高野山病院が診療所に移行したとあって、救急対応に特段の変化はありません。従来通り救急出動した救急救命士が傷病者の状況を観察し、病院選定基準に基づいて、搬送先病院を選択しています。

質問 救急車が来て10分、15分待たされても病院に搬送されない、この状況がどうなのですか、と私はお聞きしている。

答弁 (町長) 高野山病院であろうと診療所であろうと救急体制は変わっておりません。

質問 先ほど患者数が減少した、と申されましたが、その一因に診察予約制度があるからではないかと思われまします。今までと違い、予約しないと診てもらえないと思いついで、病院に行かないのだ、と言われる町民の声を多数お聞きいたします。従来の診察方法に戻す事が出来ないのかをお聞きいたします。

答弁 (診療所事務長) 予約診療を昔に戻すという考えはございません。

老人介護施設について

質問 先月「高野町の老人施設で虐待か」とセンセーショナルに報道された福祉施設グループホームについて、報道のみでは判らない部分が多く、町が把握している限りの事実をお話いただきたい。

(以下紙面の都合で省略します)



大西 正人 議員

高野町地域防災計画について

質問 高野町全域に急傾斜地危険箇所、土砂災害警戒区域が多くあり、危険の周知が必要であると考えます。台風・集中豪雨・地震などのとき、避難指示はどのような方法で行うのか、その基準はどう決めていますか。

答弁（総務課長） 現地調査の内容等が出来上がりましたら、地域の方にハザードマップ等で方向性を示して今後の対応を検討していきたいと考えています。避難指示については、災害が発生する危険性が非常に高いと判断された状況・もしくは災害が発生したときとなっています。今後防災の避難については、訓練などの経験を重ね、対応能力を高めていくことにより、判断基準もそれに伴い出来上がってくるものと思えますので、今後も自主的に防災の訓練を重ねて参りたいと考えております。

質問 危険度・重要度の高い箇所について景観にも配慮した、ノンフレーム工法などを取り入れた根本的な防止策を実施していくことは考えられませんか。

答弁（建設課長） 県の補助対策事業が出来ます。ただし住民と山主の意見集約をクリアした後に、採択となれば事業が進んでいくこととなります。費用の方も全体の事業費の割は、受益者負担となる条件が

いています。提案のノンフレーム工法は景観にも良く、防災という意味では、大変有効な方法であると紹介されています。事業をする場合、地表調査を行い、具体的な工法が決まってくるようです。

地域あんしんネットワークづくりについて

質問 緊急通報装置の貸し出し申し込みが始まっていますが、協力員の選任など具体的に進んでいますか。

答弁（健康推進課長） 基本的には利用者の方に協力員を指名していただくのを原則としています。一軒家のような所は、一番近い身内の方とかを選んでいただくようにお知らせしたいと考えております。基本的に共助の仕組みですが、まずは消防署の方に通報がいき、消防署から協力員に安否確認を依頼する、共助と公助を組み合わせた仕組みです。装置の取り付けは2月から始める予定で、この仕組みのなかでは協力員が一番重要な位置付けになると考えています。

質問 一番重要な協力員のハードルが高いように思われますが、どう対処しますか。

答弁（健康推進課長） 協力員になっていただくかに関して、ハードルが高いと認識しております。申し込まれたお宅を訪問し、協力員のことも含めて



話をさせていただきます。また、民生委員の方には仕組づくりに協力して下さいというお願いをして、申し込み調査の段階で関わっていただく、そういったなかでハードルとなる部分をクリアできたらと考えています。

学童保育について

質問 学童保育に関して、まず詳細なニーズ調査をしたいとの事でしたが、その後どうなっていますか。

答弁（健康推進課長） 1月にアンケート調査を行いました。（利用したい）（必要ない）ほぼ半々という所です。場所は、圧倒的に学校の空き教室が良いとの反応がでてきます。（利用したい）という方で必要なときだけ利用したいという声も、かなりあったと聞いています。悩ましい問題で、この調査は、これから学童保育をスタートさす一つの資料ですが、もう少し突っ込んだ形で情報を収集していきたいと思っております。

質問 マンパワー不足で、なかなか進まないとのことですが、町長に直談判してでも、次世代育成支援に携わる専門の方をお願いする、そんな強い気持ちで進めることはできませんか。

答弁（健康推進課長） 町長に直談判というの是一次してみたいと思いますが、関連した保護者の方に集まってもらい、その中で運営方法を考えていく、ときには協力を求める、そういった仕組づくりを考え、進めていく事を約束したいと思います。

9月

◎高野町総合交通計画検討委員会(第7回) 出席

10月

◎広報特別委員会(編集会議)

◎高野天川線整備促進協議会出席

◎行政視察受入(東京都世田谷区議員)

◎広報特別委員会(編集会議)

◎和歌山県町村議会政策審議会出席

◎橋本市周辺広域「三」処理場環境保全委員会 出席

◎行政視察受入(長野県議団)

◎高野町文化表彰出席

◎橋本市周辺広域「三」処理場環境保全委員会 出席

◎行政視察受入(福島県相馬地方議長会)

◎県町村議会議長会議出席

◎橋本市周辺広域「三」処理場環境保全委員会 出席

◎第56回全国町村議会議長大会出席

◎和歌山県清掃連合会研修会出席

◎行政視察受入(秋田県横手市議会)

◎所管調査(厚生建設常任委員会)

◎所管調査(総務文教常任委員会)

◎県町村議長会委員長研修会出席

◎橋本市周辺広域市町村圏組合全員協議会 出席

◎防災訓練参加

◎議会運営委員会(12月定例会に関する)

◎高野山総合診療所運営委員会出席

◎高野山総合診療所経営検討会出席

◎高野町総合交通計画検討委員会(第8回) 出席

次の方が選任されました。

高野町固定資産評価審査委員会委員

角濱 正和氏

一般質問 (質問詳細については、5～9ページに掲載)

受付順	氏名	質問事項
1	平野 一夫	・冬季の除雪対策について ・空き家調査の方法について ・税金(納付方法)について
2	中前 好史	・当初予算の編成方針について ・桜ヶ丘付近の山林について ・高野山内の街灯電気料金について
3	松谷 順功	・保育所について
4	所 順子	・高野山総合診療所について ・老人介護施設について
5	大西 正人	・高野町地域防災計画について ・地域あんしんネットワークづくりについて ・学童保育について

一般質問については

『発言』及び『答弁』の内容は、質問者に編集・校正をお任せし、質問者の責任のもと掲載しております。

編集後記

新年明けましておめでとーございませう。本年は癸巳みづのとみの歳、「へび」さんの年です。十二支では六番目、時刻では午前十時、およびその前後二時間です。中間地点の少し前の年に当たります。

高野町議会も平成二十二年の統一地方選挙後、もう少して中間地点となります。世間では、昨年末の衆議院選挙において、自民党が過半数を占める大勝となり、自公連立による安倍内閣が発足され、経済政策を始め様々な問題に対して非常に積極的な取り組みを発表して、国民に大いなる期待を与えております。我々高野町議員といたしましても中間地点の中弛みの無い様に自らに喝を入れ、後半の議員活動に精進努力を誓う新年とさせていただきます。

本年は昨年の十一月中頃の初雪に始まり、大変厳しい冬となりましたが、どうぞ御身体御自愛くださいまして、素晴らしい一年となります事をご祈念いたしまして編集後記とさせていただきます。

(目黒 寿典)

